

銀河鉄道の夜(1985) Night on the Galactic Railroad

メディア 映画 Anime 上映時間 107 分

監督： 杉井ギサブロー アニメーション監督： 前田庸生 企画： 伊藤正昭 山下健一郎

プロデューサー： 原正人 田代敦巳

原作： 宮澤賢治

あらすじ

一、午后の授業 銀河系の仕組みについての授業。天の川について先生に質問されたジョバンニは、答えを知りつつ気もそぞろに答えることができない。次に指されたカムパネルラも、答えない。

二、活版所 放課後、ジョバンニは活版所で活字拾いのアルバイトをする。仕事を終えたジョバンニは、パンと角砂糖を買って家へ急ぐ。

三、家、 家に帰ると牛乳が未だ配達されていない。病気の母親と、北方へ漁に出たきり帰ってこない父のことやカムパネルラのことなどを話す。ジョバンニは、銀河のお祭り（烏瓜のあかりを川へ流す）を見に行く、と言って家を出る。

四、ケンタウル祭の夜 牛乳屋（牧場）に行くが、出てきた老婆は要領を得ず、牛乳をもらえない。途中で、同級生のザネリたちに会い、からかわれる。一緒にいたカムパネルラは気の毒そうに黙って少し笑っている。銀河の祭りに行くザネリたちと反対に、ジョバンニは一人町外れの丘へ向かう。

五、天気輪の柱 天気輪の柱の丘でジョバンニは一人寂しく孤独を噛み締め、星空へ思いを馳せる。

六、銀河ステーション 突然、耳に「銀河ステーション」というアナウンスが響き、目の前が強い光に包まれ、気がつくやうと銀河鉄道に乗っている。見るとカムパネルラも乗っていた。

七、北十字とプリオシン海岸 北十字の前を通った後、白鳥の駐車場で 20 分停車する。二人はその間にプリオシン海岸へ行き、クルミの化石を拾う。大学士が牛の祖先の化石を発掘している現場を見る。

八、鳥を捕る人気のいい鳥捕りが乗車してくる。彼は、鳥を捕まえて売る商売をしている。ジョバンニとカムパネルラは鳥捕りに雁を分けてもらい食べるが、お菓子としか思えない。突然鳥捕りが車内から消え、川原でさぎを捕り、また車内に戻ってくる。

九、ジョバンニの切符（以下、全体のおよそ半分にわたり章立てはない） アルビレオの観測所の近くで検札があり、ジョバンニは自分の切符だけが天上でもどこまででも行ける特別の切符であると知る。驚の駐車場のあたりで、鳥捕りが消え、青年と姉弟が現れる。彼らは、乗っていた客船が氷山に衝突して沈み、気がつくやうとここへ来ていたのだという。かおる子（姉の少女）とは長い会話を交わす。蠍（さそり）の火を眺めながら、かおる子は「やけて死んださそりの火」のエピソードを話しはじめ、ジョバンニたちは、黙ってそれを聞く。その後列車はケンタウル村を通過する。少女たちと別れ際に、「たった一人の本当の神様について」宗教的な議論が交わされる。天上と言われるサウザンクロス（南十字）で、大半の乗客たちは降りてゆき、ジョバンニとカムパネルラが残される。二人は「ほんとうのみんなのさいわい」のために共に歩もうと誓いを交わす。その直後、車窓に現れた石炭袋を見たふたりは、非常な恐怖に襲われる。ジョバンニはカムパネルラをはげますが、カムパネルラは気の乗らない返事をしたのち、「あすこにいるの僕のお母さんだよ」といい残し、いつの間にかいなくなってしまう。一人丘の上で目覚めたジョバンニは町へ向かう。今度は牧場で牛乳をもらい、川の方へ向かうと「こどもが水へ落ちた」と知る。同級生から、カムパネルラは川に落ちたザネリを救った後、溺れて行方不明になったと聞かされる。カムパネルラの父（博士）は既にあきらめていた。博士は、ジョバンニの父から手紙が来た、もう着く頃だとジョバンニに告げる。ジョバンニは胸がいっぱいになって、牛乳と父の知らせを持って母の元に帰る。